

N904188

特殊研 F-100

訪問教育対象児童生徒のコミュニケーションと 探索手段の開発に関する研究

(課題番号：11680303)

平成11年度～13年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(2)）

研究成果報告書

平成14年2月

研究代表者 川 住 隆 一

(独立行政法人 国立特殊教育総合研究所)

目 次

1. はじめに	1
2. 研究目的	2
3. 研究計画・研究方法	2
4. 教育相談来談児に対する取り組み	3
4-1. 探索活動の促進がコミュニケーション内容を豊かにした事例	3
4-2. コミュニケーションの意欲と伝達手段の向上を目指した事例	6
4-3. 人の動きを選択的に見ることから探索活動を促した事例	12
4-4. 探索活動の促進に電動式スクーターボードの活用を図った3事例	15
5. 研究協力機関における訪問教育対象児への取り組み	19
5-1. 神奈川県立鎌倉養護学校における取り組み	20
5-2. 神奈川県立横浜南養護学校における取り組み	27
6. 各地の訪問教育の場で収集した事例	29
6-1. 北海道星置養護学校	29
6-2. 神奈川県立中原養護学校	30
6-3. 千葉県立安房養護学校	32
7. 研究成果のまとめ	33
8. 文 献	35

研 究 の 概 要

課 題 番 号： 1 1 6 8 0 3 0 3

研 究 課 題： 訪問教育対象児童生徒のコミュニケーションと探索手段の開発に関する研究

研 究 期 間： 平成 11 年度～13 年度

研 究 組 織：

研究代表者 川住隆一（独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 研究室長）

研究分担者 石川政孝（独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 主任研究官）

研究分担者 早坂方志（独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 主任研究官*）

* 現・青山学院大学文学部助教授

研究協力機関： 神奈川県立横浜南養護学校

神奈川県立鎌倉養護学校

重症心身障害児施設 小さき花の園

研 究 経 費： 平成 11 年度 2,500、12 年度 500、13 年度 900、 合計 3,900 （千円）

研 究 発 表：

1) 学会誌等

川住隆一・石川政孝（2000）コミュニケーションの意欲と伝達手段の向上を目指した重複障害児に対する教育支援の経過. 国立特殊教育総合研究所研究紀要, 27, 55-66.

川住隆一（2000）障害が重い子どもとのコミュニケーションと環境. 肢体不自由教育, 146, 12-19.

石川政孝・川住隆一（2000）教材・教具についての工夫. はげみ, 275, 4-10.

石川政孝（2001）遊びの中でコミュニケーションを支援する試み. 国立特殊教育総合研究所重複障害教育研究部（編）重度・重複障害児の事例研究, 24, 35-43.

2) 学会口頭発表

石川政孝・早坂方志（2000）肢体不自由を主とした重複障害児の「移動」と探索活動の促進－（1）歩行器の活用を図った事例－. 日本特殊教育学会第 38 回大会発表論文集, 395.

川住隆一・石川政孝（2000）肢体不自由を主とした重複障害児の「移動」と探索活動の促進－（2）電動式スクーターボードの活用を図った事例－. 日本特殊教育学会第 38 回大会発表論文集, 396.

石川政孝・早坂方志（2001）肢体不自由を主とした重複障害児の探索活動の促進－人の動きを選択的に見ることに焦点をあてた教育相談の事例から－. 日本特殊教育学会第 39 回大会発表論文集, 217.